

2023度

NPO法人 ネットワーク・フェニックス

事業報告書



<http://npo-phoenix.jp>

2023年4月1日～2024年3月31日

【長岡花火発信事業】 ～長岡の誇りを次世代に～

戦災や自然災害からの復興を遂げた長岡市。その復興魂から生まれた長岡まつり大花火大会やフェニックス花火を築き上げた先人たちの心を、我々は次代を担う子どもたちに出張授業という形で伝えて参りました。しかし以前と比べ出張授業の依頼は少なくなりその活動は縮小してしまいました。長岡花火の事、そしてフェニックス花火の事を風化させる事無く次世代に繋いでいくその活動は継続しつつも、今の時代に即したやり方を模索し、継続的に次世代に伝えていける活動を実施しました。

(1) 長岡花火普及啓発事業

一般財団法人長岡花火財団フェニックスボランティア部会と連携し、小中学校を対象とした「出張花火ミュージアム」を計画いたしました。実施はありませんでした。本年度は、来たるべき震災から20年の節目の年に向け、現在使っている出張授業での映像などのツールなどを見直し、新たな形で次世代に伝える準備を実施致しました。次年度についてはツールを完成し、出張授業、タブレットへの配信による活用の拡大を実施していく予定です。

(2) 長岡花火発信事業

一般財団法人長岡花火財団、NPO法人ながおか未来創造ネットワークと連携し、アオーレ長岡シアター付設の「長岡花火情報室」にて、市内外からの来場者に向け、通年で長岡花火の魅力を発信するとともに、おもてなしの心で長岡花火ファンの増大を目指し事業を実施いたしました。今年度も市内・県内の小中学生へ向け長岡花火の歴史やフェニックス花火誕生の経緯などを解説いたしました。

アオーレ長岡3Dシアター・長岡花火情報室来場

12, 119名



【花火打上支援事業】 ～フェニックス花火の理念を広く伝播する～

(一般財団法人長岡花火財団フェニックスボランティア部会 業務支援)

(1) フェニックス花火協賛金募金事業

2004年10月23日の新潟県中越大地震からの一日も早い復興を祈願し、またご支援いただいた多くの方々への感謝のシンボルとして「復興祈願花火フェニックス」と題し、世界一として誇れるような壮大な規模の花火を打ち上げて以来、今や長岡まつり大花火大会の目玉である花火とまでになりました。しかし、フェニックス花火がご協賛頂いたお一人お一人の募金によって打ち上がっている花火であるという事は年々風化しているように感じます。お一人お一人の想いを乗せて打ち上がるからこそフェニックス花火には感動があるのだと思います。この事を再度周知していただけるような活動を展開して参りました。

(2) 長岡まつり大花火大会フェニックス席の設営・運營業務

長岡まつり大花火大会会場のフェニックス席は、大学生を中心としたボランティアスタッフにより、設営・運営しております。ただ当日の人員としてのボランティアではなく、県内外から集まる大学生ボランティアに長岡の誇りである花火とフェニックス花火の想いを広く伝え、当日の活動への協力がフェニックス花火の協賛につながっている事を理解してもらう事に意義があるものと考えております。

アフターコロナとなり、IVUSA（国際学生ボランティア協会）のボランティアスタッフの受け入れも再開し、また長岡造形大以外の学生を受け入れる取り組みも行いました。来年度以降も多くの若者に広くフェニックス花火について伝える活動を行って参ります。

協力団体：一般社団法人長岡青年会議所、アクシアル リテイリング株式会社他、協賛企業
リバーサイド千秋、道の駅ながおか花火館 募金箱設置協力企業・店舗

フェニックス花火協賛金：7,301,892円（2022年9月1日～2023年8月31日）



Nagaoka welcome Party 出展



道の駅ながおか花火館募金箱



リバーサイド千秋三尺玉募金箱



開封式の新聞記事



募金活動の様子（リバーサイド千秋）



募金活動の様子（花火大会当日）



造形大ボランティア説明会



フェニックス席運営（入退場口）



フェニックス席運営（誘導）

(3) フェニックス花火協賛シール

シール協賛：75社 1,380,000円



(4) 「フェニックス花火」支援自動販売機設置事業

協賛金：91,403円（2024年3月31日現在）

【プロジェクト事業】 ～事業を通じた地域の活性化への寄与～

長岡には長岡花火をはじめ、歴史、文化、自然、景観、特産物など多くの地域資源を有しております。これらの地域資源を発掘し、光を当てることにより地域の魅力や価値の向上を図り、更なる地域の活性化を目指します。その活動を通じて様々なネットワークを構築し、地域を盛り上げて参りたいという考えの元、本年度も長岡米百俵フェスの飲食ブース運営などの事業を実施致しました。

(1) 長岡米百俵フェス ～花火と食と音楽と～

日付：2023年10月7（土）～9日（月祝）

主催：米百俵フェス有限責任事業組合

会場：東山ファミリーランド

飲食出店：22店

本年度はコロナ後初の本格開催、出店者についても拡大。また長岡市のご協力にて飲食エリアの舗装を実施。ながおかペイ拡大に合わせ、キャンペーンによるポイント利用のお客様も多くいらっしゃいました。



(2) 長岡まつり大花火大会フェニックス席 おもてなしブース

日付：2023年8月2・3日

会場：長岡まつり大花火大会 右岸 フェニックス席

飲食出店：5社 8テント



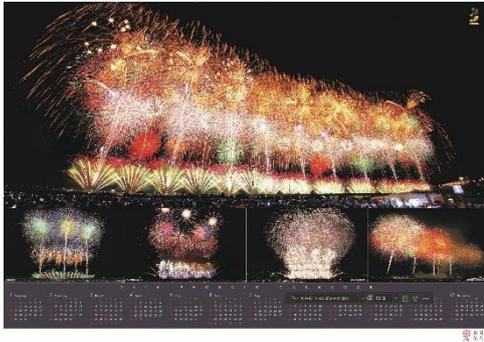
(3) フェニックス花火カレンダー

発売：2023年11月20日

製作：5,500枚

販売：5,300枚

購入企業・団体：19社 5,098枚



(4) 第17回フェニックスカップジュニアバレーボール大会

日付：2023年7月15日

会場：長岡市みしま体育館

参加：14チーム 500名



(5) 能登半島地震 炊き出しボランティアの実施

2024年1月1日、能登半島にて地震が発生し大きな被害を受けました。復興祈願花火フェニックスに関わる活動を行う我々にとって決して他人ごとではなく、まずは行動を起こしたい。そのような想いで1月から2月に掛け計4回、輪島市門前町の避難所にて炊き出しボランティアを実施致しました。現地で活動する事により、被害状況を目のあたりにすると共に、能登の人々を元気にするため今年の花火フェニックスに特別な想いをのせる事を考えるきっかけとなる機会でした。



【中心市街地活性化事業】～まちなか賑わい創出事業～

長岡市中心市街地（まちなか）の活性化を目的に他の団体、施設、店舗等と連携し、大型LEDビジョン「まちかどフェニックスビジョン」を活用し情報を発信しました。

■まちなか情報発信事業■（通年事業）

大型LEDビジョン「フェニックスビジョン」にて長岡まつり時の交通情報の発信をはじめ中心市街地でのイベントで活用する等、長岡市の旬な情報を発信。大花火大会時の交通情報では上映時間を延長することにより帰路の混雑緩和、混乱を抑制することができました。



【委託・ソリューションサービス事業】

一般財団法人長岡花火財団をはじめとする他団体からの委託事業を効果的に運営するためシステム開発・構築を行い、多様化するニーズによる「新しい公共」のサービスを提供しました。

■長岡花火関連事業■（長岡花火発信事業、花火打上支援事業・プロジェクト事業再掲）

- ・長岡花火普及啓発業務
- ・フェニックス花火協賛金募集・管理業務
- ・フェニックス席管理運營業務
- ・長岡花火関連商品販売委託業務
- ・フェニックス席設営管理業務

■中心市街地活性化関連事業■（中心市街地活性化事業再掲）

- ・まちなか情報発信事業
- ・市政上映管理業務

【画像提供】

長岡市

（一財）長岡花火財団

NPO法人ながおか未来創造ネットワーク